

質 問 者

大阪府議会議員 西野 修平

質問予定概要

		質問日	令和6年6月10日 4番
発言の種別	・代表質問 ・一般質問		
発 言 の 要 旨			答弁を求める者
項 目	内 容		
1. 府立高校の定員割れに歯止めを掛けるためのプランディングとプロモーションについて	・府立高校が民間企業などの外部機関と連携のもと、各学校のプランディングを行い、プロモーションを展開し、生徒や保護者から選ばれる学校運営を具体的に進めるべき。		水野教育長
2. 「主体性」や「当事者意識」、「探究能力」などを育む高校教育への転換について	・子どもたちの「主体性」や「当事者意識」、「探究能力」などを育むアクティブ・ラーニングを実践する高校教育であるべき。また、高校入試は学力検査の点数や内申点などの「見える学力」だけで輪切りにするのではなく、主体的に学びたい「探究能力」など、「見えない学力（非認知スキル）」を判断基準として選抜すべき。		水野教育長
3. 宿泊税財源のより効果的な活用方策について	・宿泊税財源は府民文化部だけではなく、都市整備部が所管する「ハード・インフラ」、教育庁が所管する「文化財」、環境農林水産部が所管する「自然資本」など、磨くべき観光資源にも活用し、観光施策の裾野を広げるべき。		松阪府民文化部長
4. 合理的配慮への取り組みに対する府独自の支援について	・大阪・関西万博のテーマでもある「一人ひとりのウェルビーイングが共鳴する社会の実現」を推進するためにも、事業者の合理的配慮への取り組みに対し、後押しが必要。合理的配慮に関する研修会受講者に府独自の受講証明書を発行し、社内や店舗などへの掲示を促すなど、積極的な取り組みを進めるべき。		吉田福祉部長
5. 大阪府受動喫煙防止条例の周知について	① 令和7年4月の条例全面施行まで1年を切り、様々なツールを活用した周知徹底が必要。また、条例の全面施行後も喫煙室設置補助金などの飲食店を支援する取り組みを継続して行うべき。		西野健康医療部長
	② 事業者の補助金申請に係る手間を少しでも軽減できるよう、ワンストップ窓口の設置など、手続きの簡素化を図るよう要望する。		要望
6. 上原町交差点の立体交差化（アンダーパス化）について	・国道371号バイパスの全線開通により、国道371号と大阪外環状線が交差する上原町交差点の交通量増加が懸念される。渋滞対策として本交差点の立体交差化（アンダーパス化）の検討を始めるべき。		谷口都市整備部長